

宇部・山陽小野田防災協会会長賞

「自信を持って守るために」

宇部市立黒石中学校 1年 ^{もりおか}守岡 ^{はっぴ}衣

私は小学一年生から厚南消防クラブに所属し、防火防災について学び、合宿や様々な訓練・活動をしています。

家庭では、近所の梅田川の増水に注意し、中学校の表門ではなく、裏門から避難することを家族全員で確認しています。また、防災グッズは何をどのように使うか一覧表にし、家族全員が共有できるようにしています。例えば布のガムテープはテープとしての働きだけでなく、メモとして使え、傷口の一時的な止血にも活躍します。ラップは食器の上にかぶせれば洗い物が減り、身体に巻けば保温に便利です。避難生活中の野菜不足は野菜ジュースを準備しておくで吸収が早く、缶が丈夫で長期保存が可能です。

消防クラブの合宿では、心臓マッサージ、ロープワーク、怪我の応急処置、消火器の使い方、避難訓練などを実施しました。実際に煙迷路で避難訓練をしたときは、自分の想像以上に煙が多くて目が痛くなりました。しゃがんで進むと、足元は少しだけ煙が薄くなっていたので、火災で避難するときはなるべくしゃがんで避難しようと思いました。ロープワークは難しく、何度も練習しました。今でも消防クラブの全国大会に向けて仲間と一緒に、速く正確に出来るように訓練しています。全国大会の訓練中、消防署内で救急車の出動要請のサイレンが鳴り続け、訓練が自主練習になったことがあります。出動の準備など、出動する方も指示を出す方も暑い中、きびきびと活動されていた姿がとても印象的でした。

私が今、防災で大事だと思うことは、訓練で色々な準備を継続することです。起こってはいけないのが災害ですが、いつ何がどのように起きるかは分かりません。親や先生と一緒にではないかもしれないし、助けて欲しい時に救急車が来ないかもしれません。自分たちの命は自分たちで守らなければならない。今年の夏はそんな気がしています。

私が厚南地区から黒石地区に転居して一年が経ちます。近所の子は小学生以下ばかりで、家族のように仲のいい人もいれば、挨拶程度の人もあります。一人でも多く災害から救うために私たちに出来ることは何かを家族で話し合ってみました。防災に関わらず地域の活動に参加し、不安を軽減させる関係を築く。起こりそうな災害をイメージし、空を見る。普段と違う音やにおいなど、サインに気を付ける。そして、携帯電話では様々な情報が拡散するため、テレビやラジオなどで正しい情報を得ることなど、自分で判断・行動するための準備が大切であるという意見が多く出ました。正しい知識を学び、更新することで、いざという時の自分の行動にも自信が持てると思います。消防クラブで教わったことを思い出し、イメージや準備を大事に、自信をもって一人でも多くの人を助けたいです。

